

## 普遍的なシンボル III

### 1. 人間の目的とノーシス

通信講座も今回の14号から、応用コースに入ります。これまでも、くり返しお伝えしてきましたが、我々人間は、肉体だけで生きているわけではありません。魂と霊、肉体を持って生きています。我々の魂、その純粋なエッセンスは、宇宙の偉大な父である創造主のところからやって来ます。そして、天の川を通ります。我々の、偉大な宇宙の母（マハ・クンダリーニ）である天の川です。それはミルキーウェイ（ミルクの道）であり、インドでは牝牛で象徴されます。そのために、インドでは牛を神聖なものとして扱います。我々の魂は、この天の川からさらに太陽に至ります。この太陽が、我々の身近な父です。そして、母である月を通る時に霊を与えられ、最終的に地球にやって来ます。この地球に至って初めて、我々は目に見える形として表現されることができました。つまり、肉体を与えられました。ですから、我々の魂は太陽に属し、魂の故郷は、表現不可能な創造主のところにあります。太陽は、すべてに生命を与えます。ですから、禮物は太陽に向かい、光を求め故郷を求めます。そして、我々の魂も、故郷へ帰ることを願っています。そこに再びもどるために、この地上にやって来ました。だからこそ人々は、ただ食べて、働いて、寝て……というような生活だけでは満たされないのです。なにか？そのなにかが、なんであるのかわからないために、旅をし、山へ登り、冒険をし、次から次と趣味やスポーツ、文化的な会へ参加したりします。そして、精神的な飢えを満たすことができずにいます。魂は光を求めています。魂が、我々を押しています。故郷へ帰るように、その帰りをさし示す道しるべを探るように。

このように、創造主、神、魂などと言え、それだけで、それはもう一つの宗教だと思いつく人が大ぜいいます。けれども、ノーシスは、宗教でも宗教でもありません。組織でもありません。ノーシスは、人類の起源とともにあります。そして、すべての文明と民族の中に、身近にいたる所で見出すことのできるものです。宗教は、まず初めに、神や仏を教えます。そして、宗教とは、その起源にもどるということです。（8号13ページ参照）。では、宗教では、神や仏のところへ、どのようにしてもどれと教えているのでしょうか。それを具体的に教えている宗教

教はあるでしょうか。宗教以外のなにかが教えているでしょうか。ただお経をとなえ、天国へ行けるようにお祈りするだけでできるでしょうか。ただ崇拜し、信じるだけで、本当にできるでしょうか。あるいは、占いや、最近目立っている“白魔術”が、我々を天に導くのでしょうか。真の自由と幸福を持たらずでしょうか。よく観察し、考えてみてください。至上の神、創造主のところへ至る道。それは縦に、垂直に登っていく道です。その天上に向かう道は、どこから始まるのでしょうか。それは、この地上にいる自分自身の位置から一段目が始まります。自分も見えず、自分がどこに立っているかも見えなければ、どこへ向かうこともできません。自分自身を知らずに、神を知ることは不可能です。だからこそ、ノーシスは、まず初めに、自分自身を知るところを教えます。自分自身を見させます。自分を見る、知る、それはどういうことでしょうか。皆さんが、ノーシスを知ったキッカゲや講座を受けるようになった動機、そして、応用まで続けてくる間には、いろいろなお話があったと思います。地方で、通信だけを相手にノーシスを学ぶ皆さん一人一人の体験を、より多くの人々の体験として分かちあい、学びあいたいと思います。互いの進化のために、すべての経験を分かち、生かしていきたいと思います。というわけで、ここに一人のお手紙の一部を紹介したいと思います。「……ノーシス心理革命は非常に恐ろしい本だ。初めて読んだ時、自分の心があはき出されているようで、全ページ、自分のために書かれているようだった。閻魔大王の鏡の前にいるようだった。真理、真実という刀で切り刻まれているようで、もうくたくたになった。(それなのに、しばらくすると、けろりとしている自分を見出す……) いまだに、この本は気楽には読めない。通信も、すぐには読めない状態が続いている。ある種の決心とでもいうようなものをしないと、ただ字面を追うだけになってしまう。精神的になにか重圧がかかってくるような感じがある。でも、少しずつではあるが、自分が変わっていきけるようだ……」いかがですか？この味を、ともに味わいたいと思います。この苦しさ、重圧、それはすばらしいものです。なぜなら、自分自身の現実を見ているからです。これまで閉じていた目を開き、自分自身を見つめ出したからです。それは、眠ったまま生きようとしている時には、決して味わうことのできない味、意識ある苦しみだからです。もちろん、苦しみを感じる度合は人によって違いますし、苦しみが長いか、短いかも、それぞれ異なります。現実を見ることは、大変、苦痛なことです。ですから、多くの人々は、自分自身の現実を見ようとせず、目を閉じて通りすぎていきます。だれでも、自分の本当の姿は見たくありません。だからこそ、自分を観察し、エゴ根絶にとりくむ心理的な仕事はしたくありません。でも、進化したいなら、魂の故郷に帰りたいなら、自分自身の現実を見なければなりません。自分自身のエゴを発見し、心理的な仕事をしなければなりません。自分自身と闘うことが必要不可欠です。ノーシスは、我々を現実と直面させます。そのための知識を教え、人類一人一人に、自分自身を理解させます。その理解が、苦しみを変えていきま

す。ただ苦しむだけの苦しみから、真に希望ある苦しみになっていくでしょう。人生の中で、苦しみも少なく、経済的にも恵まれ幸福であることが、魂の幸福とは限りません。楽しい、思いどおりの一生が、進化のためによいとは限りません。幸福とはなにかを、ノーシスを通して考えてみてください。

狂信と唯物主義は、正反対の位置にありながら、どちらも全く同じまちがいで、ノーシスは正しい知識を伝え、自分自身で考えることによって、自分で自分のバランスをとっていくことを教えます。ですから、ノーシスは、決してなにも強制しません。なぜなら、魂の故郷へ帰る進化の道は、個人個人が決心し、上昇していく道だからです。自分自身の判断と決意によるものだからです。それは、全く個人的なものです。

ノーシスは、生きた知識です。我々の魂や意識にまで至るものです。そして我々を、善も悪も超越した真の幸福へと導きます。ノーシスは、すべての時代を貫く叡智です。それを、シンボルを通して探ってみたいと思います。

## 2. シンボルとは

ここに、1本の赤いバラがあるとします。それは1つの花です。それは、どの国の人が見てもわかります。「花」「バラ」という日本語、英語の「flower」「rose」という言葉を知らなくても、またほかの国の言葉を知らなくても、それがバラという花であることは、見ればわかります。ですから、ここにある1本の植物は、その姿、形によって、花であること、バラであること、とげがあること、そして色は赤であることがわかります。このように、それを見る人すべてに、1つのメッセージを伝えます。この世の言葉、肉体の口から発せられる言葉なくして、1つのメッセージを表わします。そして、それを見つめる人々を、その姿、形のすべてをもって揺り動かします。美しい1本のバラが、我々に深い感情（エモーション）をわき起こさせます。インスピレーションを与えます。そして、内的なエネルギーを生まれさせます。このように、我々が受けとるすべての印象、メッセージは、音であれ色であれ、我々の内部になんらかの成分を生じさせ、活動させます。

シンボルとは1つのメッセージであり、普遍的な宇宙の言語であり、多くの深い意味を持つエネルギーの1つです。シンボルとは、神聖な起源を持つものであり、我々の意識にまで到達します。ですから、表面的な自覚では、そのシンボルの意味がわからなくても、目に焼きつくほどの強烈な印象を受けたりします。そのように、我々は長い転生の中で、多くのシンボルを意識の中に焼きつけ、刻みこんで来ました。そうすると、シンボルの意味を知り、正しい知識を知ることによって、それらの潜在しているものを思い出し、引き出すことができます。ですから、ノーシスは、我々の内に潜在しているものを揺り動かし、思い出させ活動させます。シンボルの意味、その鍵を持っていれば、どの国のどの文明のものを

見ても、また、どの宗教を見ても理解していくことができます。シンボルの鍵によって、宇宙のすべてを理解していくことができます。ですから、アトランティスを起源とする偉大な古代文明時代の教育は、1つのシンボルを通して瞑想し、学んだのです。そのようにして得た理解というものは、生きていた間だけでなく、死後にも、永遠に役立つものです。なぜなら、シンボルは、普遍的な全宇宙の共通語だからです。三次元以外の不可視の世界は、シンボルによってコミュニケーションがなされるからです。ですから、シンボルは、高次との交信にも、また自分自身の心理的な状態を理解するのにも、大変役立つものです。また、シンボルは、その形を通してメッセージを伝えると同時に、その形によって呼びよせるエネルギーというものがあります。十、卍、△、○、☆、∞（無限、インフィニット）など、すべては、その形なりのエネルギーを引きつけます。ですから、偉大な文明の遺産は、すべて、シンボルの鍵を秘めています。それらを理解していく時、我々は時代を越えた叡智に足を踏み入れていくのです。

### 3. シンボルの神秘

#### 教について

教、数学というと、普通、学校で習う数学、いわゆる数の計算ということだけを考えがちです。でも、教というものは、大変多くの意味を表わすシンボルです。生きたエネルギーです。宇宙は、100%、数学的なものです。ですから、教が話してくれることを聞きとれるなら、宇宙の真実を理解していくことになります。教が話してくれることについて、簡単にふれてみたいと思います。

0……これが最初のシンボル、ゼロです。すべての教に先立つもの、つまり創造以前を表わします。表現不可能なもの、無であり、無限の中の神です。絶対太陽や創造主をも表わします。そしてまた、哲学で言うところの宇宙の卵、叡智の卵です。（2号10ページ参照）。卵には、生命の誕生に必要なものすべてが含まれています。ですから、無はなににもないからっぽではなく、すべてが潜在し充満しています。すべてに生命を与える元であるエーテル（靈気）が、全宇宙に存在しています。ですから、0はすべての起源です。

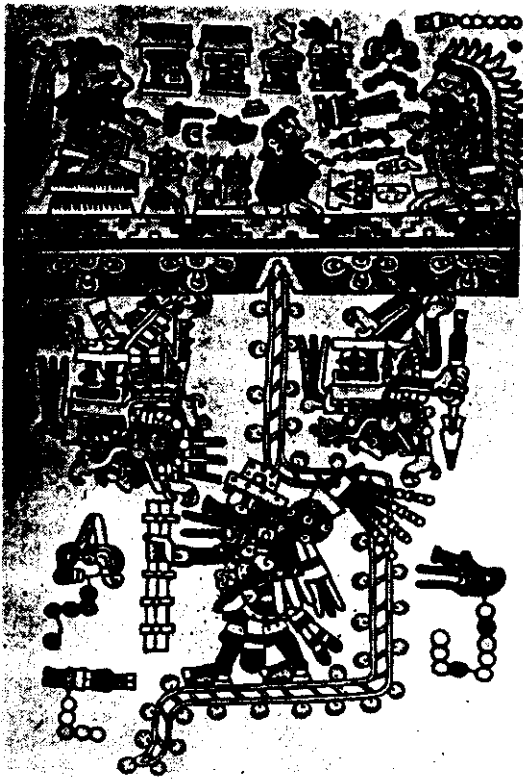
1……0の次に現われるのが、◎。無の中から生じた最初の表現です。これが表現できるものの始まりであり、太陽です。1は我々の父であり、統一（ユニティ）、和合です。これはヒンズー教のブラフマン（最高神、梵天）です。1は第一ロゴスであり創造の *Āiñ*（1号3ページ参照）です。

2……1ができ、それが二重になって2、◎が生じます。2は母であり、叡智で



シウラの顔をつけたリンガ

す。神の妻、巫女であり、エジプトのイシス、インドのデビ・クンダリーニ、メキシコのグアダルベの聖母、キリスト教のマリア、仏教の観音とさまざまな表現をとります。母は蛇で表現されますが、その聖なる蛇は、



クツアルコトル (男根のある蛇)

マヤのククルカン、アステカのトナンツィンというぐるを巻いた姿だけでなく、頭や半身が蛇である姿など、世界中の文明の中で見ることができます。日本では鎌倉銭洗弁天の弁天などがあります。



蛇の顔の地母神

(3)

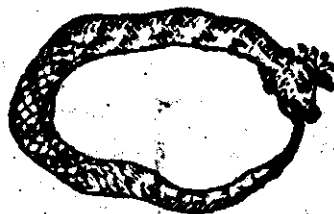
2は、宇宙に存在する2つの力、2つのエネルギー、その二元性を象徴します。陰と陽、十と一、上と下、火と水、男と女などです。この2つの要素が、すべての動きを生じます。これは、鳥居の2本の柱で表わされ、そこにある注連縄の紙垂が知識を表わします。エジプトでは、ジャキン(男)とホアス(女)と呼ばれる2本の柱になります。二元性は、母の

二重の表現となります。つまり、蛇の2本の舌、そして上昇する蛇(クンダリーニ)と下降する蛇(クンダバファー)です。2はまた、子を象徴します。これがヒンズー教のヴィシュヌ(三大神の1つ)、そしてクリシュナであり、中国の伏羲、そして仏陀であり、コスミック・キリスト(8号3ページ参照)です。それは愛であり、第二ロゴスの  $\text{ĀIN ŠOPH}$  です。

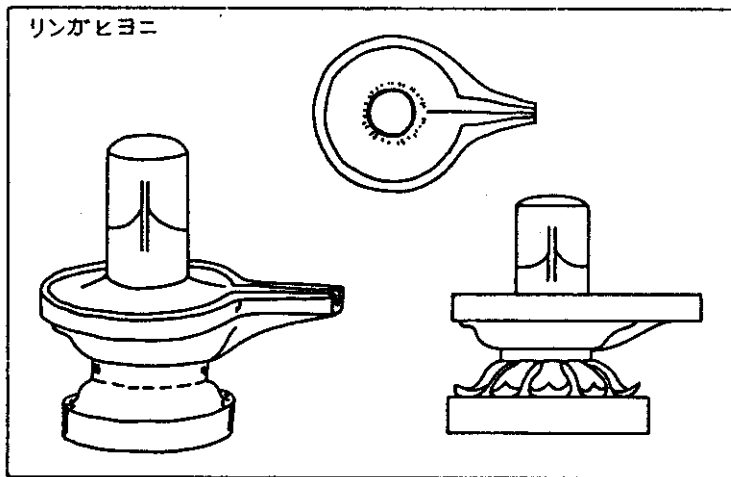
3……2つの力が交わることによって、新しい力が生まれます。1+2、それが3、 $\Delta$ になります。二元性を中和し、三位一体を成す3です。それが、父と母と子、あるいは父と子と聖霊、そして肉体と霊と魂、脳とハートと性、陽子と電子と中性子を表わします。3は創造の法則であり、第三ロゴス、 $\text{ĀIN ŠOPH AUR}$  です。ヒンズー教ではシヴァになります。シヴァは、破壊を表わします。これがエゴの破壊です。それは、唯一、性の力、聖霊の力によってのみ成されることです。我々の持つ性エネルギー、その性の力は、蛇や魚、水で表わされます。これがすべてに生命を与えるクリスティックなエネルギーです。このエネルギーによって父と母が結ばれる時、創造の三位一体が成されます。つまり、性エネルギー昇華によって我々がクリスティックなエネルギーで満たされ、クリスティックな人間に

なっています。それが、我々自身がクリスト（キリスト）になっていくことです。それが復活であり、黄金の太陽人間に再生していくことです。

0から発生し、創造された1が2になり、3になり、そして再び1にもどります。このように、初めは1だったものが3つに分かれ、そこで新たな結合によって新しい1になり、元にもどります。創造と破壊、再生の神秘が、1と2と3によって表わされています。そこには、非常に多くの深い意味がこめられています。魂の進化、性の神秘と心理の仕事、それを宗教とは関係のない教が教えています。この1、2、3で表わされる創造を象徴しているものの1つに、ウロボロスがあります。これは、中世の錬金術のシンボルの1つで、己れの尾をかんでいる蛇、龍です。それは、蛇で表わされる性エネルギーによって自らを飲みこみ、そしてまた、自らを生み出すということを象徴しています。性のパワーによって、己れのエゴを破壊し、清浄な己れを自らが創造するのです。宇宙のたえまない動きの中で、人間は己れのうちから生まれるのです。それは、性の大きいなる作業によって成されます。神秘の鍵である性を表わす6は、1と2と3を足したものです。



4……これは□であり、十（十字）です。すなわち、二元性の2つの力の交わりを意味します。太陽と月の、リング（男根）とヨニ（女陰）の結合です。2つの交差した力は、常に動いています。それが十字の回転（卍・卐）です。右回りはポジティブ（+）な、左回りはネガティブ（-）な動きです。ですから、ナチスの

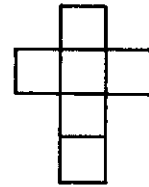


のヒトラーは、逆まんじ（卐）を使ってネガティブ（-）な力を引きつけたのです。ここに大事な点があります。それは、我々の性エネルギーの在り方は常に動いていて、我々自身が四六時中、どちらに向かっているのか、向けようとしているのか、意識を持って問い続ける

ことが必要だということです。それがエゴ根絶と、進化の鍵なのです。また、4は、3の創造の後に誕生する生命を表わします。また自然界の4つの要素（火・水・土・空気、炭素・水素・窒素・酸素）、4つの方向（東西南北）を表わします。6つの□が集まった立方体の形を分解すると、十字ができます。このように

幾何学も、創造の神秘を表わします。

5……生命の次の数、5は小宇宙(ミクロコスモス)である人間を表わします。☆はペンタグラムであり、力です。★はポジティブな上向きの方を、✱はネガティブ(-)な黒い力を表わし、そして引きつけます。ですから、いつも上向きに使わなければなり

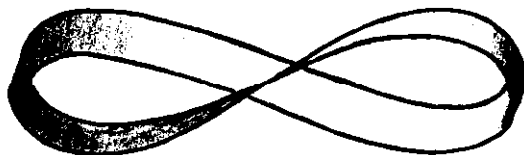


ません。それによってポジティブな力を引きよせ、黒い力から身を守ることができます。逆のペンタグラムは、2本の角をつけたやぎ、悪魔を表わします。5は音楽の楽符の五線を表わし、そこにオクターブの7つの音が表わされます。ペンタグラムについては、後に詳しくとりあげます。

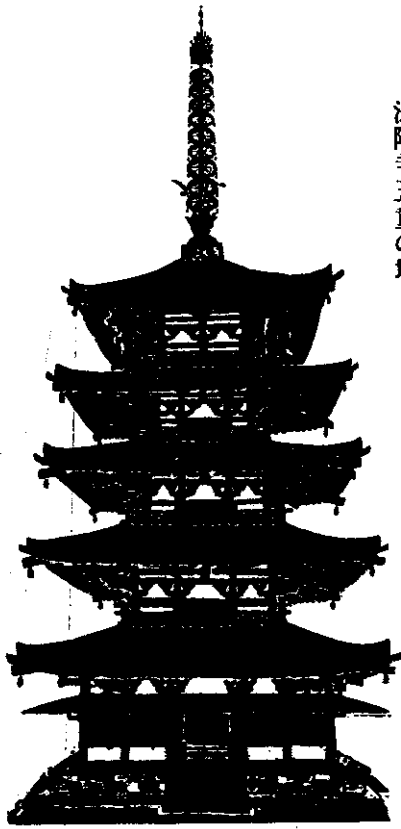
6……これは2つの三角の結合☆を表わします。☆はヘキサグラムといいます。△は赤で書かれ、火と硫黄を象徴し、▽は青で、水と水銀を表わします。それは、性の火と生命の水の結合です。またこの2つの三角は、性の神秘を表わす上の水と下の水のことでもあります。(8号参照)。6は性を表わしますが、それは、子孫を残すという生殖のための性を意味します。6を逆にすると、9になります。これは、我々人間が完全なる人になるためには、本能的なままの性を越え、神々の性、創造的な性に至らなければならないということです。黙示録に書かれている獣は、666で表わされています。それは性の頹廃を、3度積み重ねることです。三位一体を3度成し、完全なる人に至るのとは、全く逆です。ごらんのように、我々人間の進化と退化、そこに性が存在しています。

7……これは4+3。すなわち、生命の上に三位一体が成されています。台これが勝利を表わします。ですから、ギリシャの神殿も、4本の柱に支えられ屋根をのせています。この4本の柱が、科学、宗教、芸術、哲学です。仏教の中でも、△と□、それに○を加えた仏塔が存在しています。また、すでにおわかりのように、7は被造物の秩序の法則、オクターブの法則です。

8……これは4が2つ、つまり物質的な生命と精神的な生命、肉体と魂の結合を意味します。これが、我々のめざす最高の調和です。ここでは、霊、心理が完全に浄化され、解放されています。生命の創造の三位一体、それが上の次元でも下の次元でも成され、向かいあっています。天にあるものは地にもあり、登る道も下る道も同じ力によるものです。3が向きあえば8です。8が横になると∞(インフィニット)です。これは2つの渦の結合、無限であり、正義です。



9……もう、よく御存じのように、9は全、三位一体を3度、成しとげることであり、それを体現した完全なる人を表わします。それは、三重や五重の塔の九輪でも表わされます。メキシコのテオティワカンに、人間が神々になる場所という意味ですが、この古代文明都市は、9という数を基本にして建築されているそう



法隆寺五重の塔

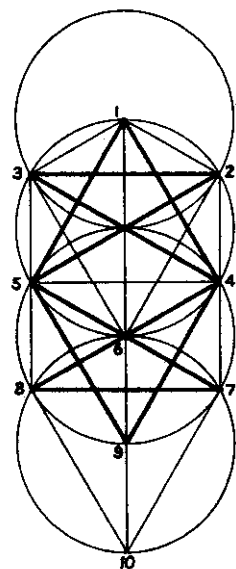
です。人間が神になるためにしなければならないこと。それは6で象徴される地上の性を、9で表わされる天の神々の性に変換していくことです。そのようにして上昇しなければ、我々は、地獄という9段階の低次に向かうしかありません。我々に正しい知識がなければ、人生は地上にしばられたままでしょう。地上の生活、それが物質的な生活を表わします。そして、我々の右半身は物質的な肉体を、左半身が精神、霊的な面を表わしています。ですから、いつも肉体と精神のバランスを保って生活していく必要があります。そうすると、地上をただ歩きまわるだけでなく、精神のための道を見つけなければなりません。この道が、天に垂直に向かう階段です。それが、ノーシスで教えるエゴ根絶の道であり、太陽人間に再生していく性の道です。これは、我々の精神的な内部の神秘的な道であり、心理的な仕事の道です。このように、外的な目に見える水平な道と、内的な目に見えない

垂直な道が、一瞬一瞬、我々の心理の内に、見えない十字を形作っています。もし、我々が、進化をとげたイニシエートたちキリストやブッダ、ベートーベンなどのことを知りたいと思うなら、外に表われた人生だけに目を向けるのではなく、彼らの隠された内的な人生を理解していかなければなりません。そして、我々自身が進化の道、イニシエートの道を進もうとするなら、自分自身の内的な人生を築いていかなければなりません。この世の物質的な人生を、バランスを保って生活していきながら、同時に、いつも隠された心理的な人生を完成させなければならぬのです。ですから、9は隠者（ハーミット、行者）なのです。この世的な全く普通の生活を送りながら、常に、深い精神的な霊的な人生を生きていく、そのための知識をノーシスは教えています。ですから、ノーシスは、人間一人一人の日々の生活に、応用し役立てていける実用的な知識です。

10……10は $1+0$ で1になります。では、1にもどるには、どうしたらよいでしょうか。10という数を、いろいろ考えてみると、さまざまなことが見えてきます。10、それは $5+5$ 、 $4+6$ であり、 $1+2+3+4$ です。そして $9+1$ 、 $3+7$ であり $2+8$ です。この簡単な足し算としか見えないことの中に、宇宙の神秘が隠されています。5+5とは、上向きと下向きの2つのペンタグラムです。これが陰と陽、光と闇、永遠なる二元性です。その2つに分かれたものが1つになる時、二元性は超越され、すべてのユニティ（統一）、1にもどります。ですから、



叡智は、陰と陽、善と悪、男と女を超越した次元、完全な1の次元に我々を導くものです。1なるものが2に分かれ、3によって結ばれ、4が生まれます。その生命は、6の性の扉を通してのみ、1に帰ることができます。性の神秘を生き、己れの中に三位一体を成し、勝利を手にした時、そして、2つのものが結合し、無限に至った時、その時、1に帰れるのです。ですから、10は1への帰還を表わしています。宇宙の中で、生命がいかにかに生き、上昇するか、下降するか、いかにして、新たな1になってもどっていくのか、このように、10は生命の永遠の動き、生命の輪轡を象徴しています。そして、それは転生であり、人間への進化と退化でもあります。

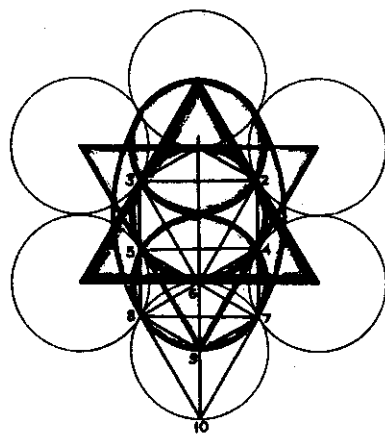


1から10までの、たったこれだけの教が、なんと奥深い神秘を語っているのでしょうか。ピタゴラスは、10を作る1

から4までの教(1+2+3+4=10)を、すべての教の基礎となる神聖な教とし、10を最も安定した教とみなしました。このように、教、数字は生きたエネルギーであり、完全な意味を持っています。奇教は能動的で、偶教は受動的であり、そして、すべての教が我々にたえまない動きを伝え、生きたエネルギーを生じさせるものです。教は、個人的な好き嫌いや先入観、偏見をさしはさむ余地のないものです。なぜなら、1+2=3、これは、だれが計算してもそうなります。だれも疑ったり、嫌ったりすることはできません。ですから、教の秘めている象徴

時代を貫く叡智は、この世の宗教とは、なにも関係のないことがおわかりになると思います。教の本当の世界、その神秘にふれることは、理屈ではありませ

11	反対の結合、説得、物理的力以上の知性
12	黄道帯12宮、使徒の任務、人類のために献身する人
13	死、生と死の結合、13→1+3=4 神秘的死⇒エゴの死
14	調和、慎しみ、7+7
15	悪魔、肉欲、男と女を奴隷にする 般若、15→1+5=6
16	落下、墜落、こわれやすさ
17	希望の星
18	隠れた敵、危険
19	真実、成功、インスピレーション
20	変化、復活
21	変換(トランスミューション)
22	帰還 22→2+2=4



ん、表面的なインテレクト（頭、頭脳）でできることではありません。一人一人が味わい、感じとり、自分自身で理解していくことが、最もすばらしいことです。

**文明の残したもの**

シンボルの意味を習い始め、その鍵を手に入れば、外国の遺跡でも、宗教や芸術、民族の伝統や慣習、それらの本当の意味を理解していくことができます。それらのシンボルは、我々の意識にまで至り、潜在意識をも揺り動かす、我々の内部の成分を活動させます。我々の意識を通して、人間を無限に結びつけます。ですから、自分自身が、習ったシンボルの鍵を使うことが重要です。自分自身で扉をあける時、我々は最も深く、強くシンボルのメッセージを聞くことができます。だれかからの説明では体験できないもの、発見の予感や驚き、喜び、そのような感情（エモーション）と感動、インスピレーションを味わうことができます。どこへ行っても、なにを見ても、それを発見し、秘められた世界に入っていくことができるように、我々に残され、語りかけてくるものから、感じとり学びとっていきましょう。

蛇や龍は世界中で見られます。聖なる蛇、悪魔的な蛇、そして人間が蛇と交わり、蛇の子を生む話など、身近に大変多く存在しています。Aは、前に説明したウロボロスにつながります。



A ミカヘ蛇(デンマーク)

角を持つ蛇は、性エネルギーの矢によって射ぬかれたエゴを、飲みこもうとしています。尾は8本に分かれ、全身も8の字を描いています。性の神秘とエゴの死によって、無限に至るのです。



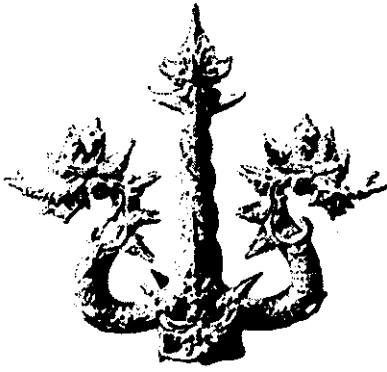
B ドラゴンとの格闘(ペルー)

角を持つ蛇も多くみられます。Bでは、羽のはえたドラゴン（龍）と、人間の尾になって下降する蛇が描かれています。中性の性エネルギーは、我々の使い方によって上にも下にも向かいます。それを上昇させ、すべてのエネルギー

を魂のものとした時、蛇は羽を得るのです。ですから、驚にのまれる蛇というものもあります。驚は、魂の力を象徴しています。Cは、両頭蛇の一つです。両端に顔が見られ、一つの体で結ばれています。中国にも同じものがあり、体が半円を描いています。この弧を描いた両頭蛇が天空に横たわったものが、虹だといわれます。エジプトにも、一つの体で両端が蛇の頭、という金の腕輪があります。しかも、これは、腕に巻きつ



C 大地の怪物(マヤ)



D からみ合う2匹の龍  
(インドネシア・バリ島)



E ナーガ族の7つの頭を持つコブラ  
(インド)



F オシリス(エジプト)

き8の字のように見えます。これらは、2つの力、二元性が1つに結合して完全なものとなることを象徴しています。我々人間も、完全なる存在となった時には、黄金の体を持つ両性具有となります。Dは、2匹の龍がらせん状に尾をからませ、上昇させています。尾を上へ上げています。蛇もよく見られますし、それは、尾を上げた魚、しゃちほこと同じ意味を持ちます。つまり性エネルギーの上昇、昇華された性エネルギーです。Dは、密教の三鈴杵と、大変似た形をしています。ドルチェとも言いますが、これは男根と性エネルギーの上昇を表わしています。Dも、同様のシンボルです。Eは、7つの頭を持つ蛇、コブラです。アンコール・ワットにも同じ七頭のナーガがあり、しかも7対の手が描かれています。これらは、我々の7つの体を黄金の霊体にし、勝利していくことを象徴しています。手は、そのための仕事を表わします。Fは、エジプトのオシリスで、冥界の神、再生復活の神です。彼は王笏と穀竿を持っています。王笏は王杖で、精神的な段階の上昇、パワーを表わします。そして、その形は、性エネルギーの上昇の形、すなわち、性と脳とハートを結ぶ形です。穀竿は、豆や穀類を打って脱穀する農具ですが、これは鞭を意味します。己れ自身を鞭打つもの、それが決心した意志です。ひげは叡智を表わします。頭上の冠は、中心が太陽と聖なる蛇、両側に羽があります。これらは、昇華された性エネルギーと叡智、魂の力を象徴しています。全体としても男根の形をし、福祿寿の頭と同じ意味を持っています。GとHは、両方とも大変似ています。鈴・ベルと男根が結びついたものです。Gのベルには、フニ(エゴ)、アヌービスであるジャッカル(正義の審判、閻魔)、羊(謙虚さ)、ホルスの目の上に横たわるスフィンクス(すべてを見通す神々の目と正義、聖な



ホルスの目(エジプト)



G 裝飾つきベル(エジプト)



H 銅五輪塔鈴

る父)がついています。その上には音楽と妊婦の主護神・ベスがいます。ワニや蛇から人々を守る神でもあります。我々は一人一人が己れの内に聖なる子を宿さなければなりません。エゴを持たない魂は、最も謙虚な魂です。Hは13号7ページにあるものと同じく、京都の醍醐寺にあります。13号のものは、鈴と金剛杵(ドルチェ)が一つになったものです。金剛杵は、もとはインドの秘教的な武器でしたが、密教の法具となっています。三叉のものを三鈷、五叉のものを五鈷と言います。これらは、煩惱を破砕し、悟りを求める菩提心を表わすと言われます。これらは性の象徴であり、3や5によって、それぞれの教の意味を表わしています。鈴は音の象徴であり、人間の声を表わします。声は、性腺と深く関係します。そして、鐘と同様に、女性要素を象徴します。鈴や鐘は、外から振られたり、打たれることによって音を発します。ですから、受動性を表わしています。Hは、鈴の上に五輪塔をのせた、大変珍しいものです。鈴のところには、五大明王が描かれています。不動、單荼利、大威徳、金剛夜叉、降三世です。これらの明王は忿怒の相をし、大日如来の命によって、諸々の悪魔を降伏します。大日如来、それは宇宙の根源、聖なる父です。不動明王は、右手に降魔の剣を、左手に鬚髻を持っています。剣は意志であり正義です。男根の象徴でもあり、昇華された性エネルギーの火のパワーです。我々のエゴ、すべての悪魔を打ち砕く唯一の武器です。鬚髻とは、赤、青、黄、白、黒の五色のものをより合わせたロープのようなもの、縄です。そして、その両端には鍔と、金剛杵の半球がついていたり、三鈷

や独鈷がついていたりします。纒、それは男女の2つの性エネルギーと、その結合です。5つの色は、宇宙の5つのエーテル（靈氣）を表わし、自然界の4つの要素とクリスティックな力である電気エネルギーを象徴します。また、仏教の五秘密でもあります。鏤は○、表現できないものを表わし、もう一方の半球は振り子です。不動明王は、石の上にあります。石は性を象徴し、この石が、鍊金術でいう賢者の石、哲学者の石です。不動明王を包む炎は内なる火、魂の火であり、血に宿る火です。石の回りに海が描かれているものがありますが、それはすべての生命の源、生命の水を象徴します。單荼利は一面八臂（1つの顔と8本の腕）の姿であり、両方を守っています。8本の手には、象徴的なものを持っています。單荼利は、我々の煩惱を絶ち、法水を注ぎ施行、善行を生じさせると言われます。この單荼利を本尊として、除災、幸福を祈る時（單荼利法）、赤い浄衣を着用すると言われます。我々のあらゆる煩惱は、欲望がある故に生じます。欲望、エゴは、性の水で洗い清め、消滅させていくことができます。そのためには、無限に至るための仕事をしなければなりません。そうすれば、真実の愛の赤い衣を身につけることができ、自ずと善なる行いによって生きることが出来ます。大威徳は水牛、あるいは白い牛に乗っていて、六面六臂六足であり、西方を守ります。降魔尊とも呼ばれ、戦勝祈願の本尊です。衆生を害する毒蛇、悪龍をくじき、屈伏させると言われます。666の教で表わされる獣、それが我々を地獄へ落とす、下降する蛇です。その悪魔の獣との闘いが、我々を勝利させます。金剛夜叉は北方を守り、悪魔を降伏する一面六臂、または三面六臂の明王です。降三世は、四面八臂で東方に位置します。三界の主、あるいは三世の貪、瞋、痴を降伏すると言われます。貪は食欲、むさぼり、瞋は怒り、痴は愚痴、無明、無知という三毒です。両足はちょうど仁王のように、我々のエゴを踏みつぶしています。これらの五大明王の手には、金剛針、



不動明王



五輪塔

鈴、弓、矢、輪などを持ち、印を結び、それらのシンボルすべてが、メッセージを伝えています。五輪塔は、密教でいう、物質構成の五大要素を表わしたものです。地□、水○、火△、風∩、空○を表わします。これらは、羅索のところで説明した、5つの色、5つのエーテルでもあります。チベットのマングラでも見られますし、宮本武蔵の「五輪書」もあります。五輪塔は、教や形の象徴でもわかるように、宇宙を象徴します。そして、我々の体もこれと同じで、大日如来へ帰るべき存在であることを象徴しています。それを我身に実践するには、シンボルで示された叡智を学び、実行していく

以外にはありません。Iは、テンデラにあるレリーフ（浮き彫り）です。下の蓮

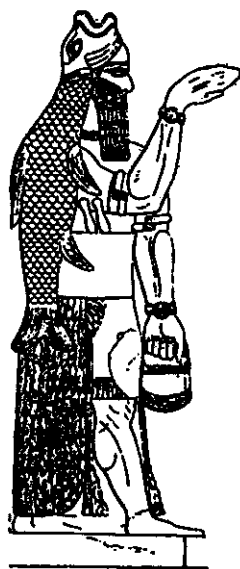


I デンデラのレリーフ(エジプト)

の花から蛇が上昇しています。そして、エジプトでは、丁の字や川(水<sup>mm</sup>)、蓮の花、バビルスなどを描いた景壇のレリーフがよく見られます。下の蓮の花は下エジプト、上のバビルスは上エジプトを象徴しています。そして、川によって結ばれています。蓮は平和の花です。蓮の咲く水は生命の水を、蓮の花が子宮、女性要素を象徴します。そこから上昇する蛇は、上昇する性エネルギー、上の水を表わします。バビルスは紙であり、叡智を記録したものです。ですからバビルスは、叡智であり、脳を象徴しています。そうすると、これらは性エネルギーの昇華、性と脳の結びつきを表わしています。丁はタオ十字で、2つの力の交わりを意味する十字です。本当の平和は性エネルギー昇華によって、つまりエゴを破壊することによ

って生まれるのです。それは、ただ道徳的に言っているのではなく、日々、一瞬一瞬、我々の肉体を使い、心理を浄化していくという現実の作業なのです。それは、なににもまして心理的な仕事ที่สำคัญだということです。なぜなら、自己観察もせず、エゴを発見し理解することがおろそかになっているのなら、せっかく昇華した性エネルギーの矢は的をはずれ、エゴの首を射ることはできないからです。そうすると、昇華した最強のエネルギーを、結局はエゴにとられ、

エゴの栄養となり、全く逆の効果を生んでしまいます。上昇すべき蛇が下降してしまいます。ですから、性エネルギー昇華の仕事も、完全に心理的な仕事だということです。そのように、人間にとって精神が重要であることを、エジプトの神々やファラオの像が教えています。それらの像は、常に左足を一歩、前に



J オアネス(メソポタミア)



K 有翼の精靈(アッシリア)

出しています。右半身は物質を、左半身は精神を表わします。精神の重要性を示しています。そして、巫女が左足を押しているのもありますが、それは、男の人にとって、進化のためには女性の導きが必要だということです。モーツァルトのオペラ、魔笛の中で、王子と王女が火の試練を受けるところがあります。その時、王女が王子を導き、試練を通りぬけます。人間の進化にとっては、両性の力を神聖に結合させることが必要です。JとKはよく似ています。そして、左足を前に出しています。魚は生命の水であり、上昇する魚は金のしゃちほこや鯉のぼりと同じです。昇華された性エネルギー、クリスティックなエネルギーです。キリストの表現の1つに、魚があります。Kは精霊を表わすと言われますが、それも性の力です。驚はもう、おわかりでしょう。そして、これはナツメヤシから、聖なる液体を集めているところです。ヤシは勝利の象徴。そのヤシからとれる聖なる液体、それは昇華された性エネルギー、勝利を持たず生命の水です。救世主を表わすメシア(メサイア)はヘブライ語で、油を注がれた者という意味です。その油がヤシの聖なる液体であり、クリスティックな性エネルギーです。これらを見ても、キリストが、キリスト教という1つの宗教上の人物ではないことがわかりになるでしょう。仏教のマンダラやタンカも、非常に素晴らしいものです。ここにのせることはできないのですが、仏伝図の1つ、涅槃の図で、横になった釈迦の前に左右に5人ずつ僧が座っているものがあります。左の5人は金色の衣を着て、右手をあげています。右の5人は普通の衣で、頭をかかえたり、泣いたりしています。ここに、己れに油を注いだ者、自分自身の意志で仕事をし、黄金の霊体を得た者と、働かなかった者を見ることができます。そして、この10人は、上向きと下向きのペンタグラム、宇宙の2つの力を象徴しています。Lは、12号、12ページのトゥーラの巨人、アトランティス人の俊姿です。これはアトランテ、建築する者です。アトルは水で、生命の水を表わします。胸の蝶々が解放された霊を、耳たぶは超聴覚を、半開きの口は言霊、神々の言葉を知っていることを表わします。頭の羽は蛇の羽、オシリスの羽と同じです。手には矢を射る道具を持っています。仙骨のところに太陽があり、その中に子供の顔が見えます。これは、性エネルギーを昇華し、黄金の子を誕生させ、さらに上昇しなければならぬということ象徴しています。13号の最後にのせたものは、コアトリクエという女神(メキシコ)です。もう一度、ごらんになってください。胸の中央に蝶々、スカートは13匹の下降する蛇で死を表わします。しかし、中央の骸骨に目があり、生きていることを表わしています。



L アトランティス人(メキシコ)

生きながらの死、心理的なエゴの死であることを象徴しています。そして2対の手、つまり4つの手と2つの心臓があります。これが物質的な手と精神的な手であり、両方のバランスと仕事を表わし、心臓は犠牲、献身的な愛です。頭は2匹の蛇でできています。この像は、骸骨のところと上と下に分かれています。それは、生と死、進化と退化、上の水と下の水を表わしています。つまり、生命のための仕事をしないのなら進化することはできない、1に帰ることはできないと語っています。これは宇宙の母であり、大地の母、生と死の母です。

このように、遠く離れた世界のいたる所で、全く同じ叡智を見ることが出来ます。皆さんも、各地の遺跡、神社やお寺、それらの行事、そして神話や昔話、芸術と、なんでも注意深く観察し、すばらしいメッセージを発見していたださい。

#### 4 日常生活の中で見られるシンボル

シンボルとそのメッセージは、外にばかりあるものではありません。我々の日々の生活の中で起こるでき事、夢やアストラトリップ（幽体離脱）で起こること、すべてが意味を持っています。ですから、我々に必要なことは、そのようなでき事を観察し、瞑想し、より正確に意味を理解していくことです。そして、それを、即、毎日の生活に生かすことです。たとえば、ねずみの形をした石けんをもらった、あるいはねずみの人形をもらったなら、それは、エゴを破壊しなさい、心理を洗い清めなさい、ということです。すべてをかじり壊してしまうねずみの歯で、強固なエゴをかみ砕くようにという声が聞こえてきます。このように、日常生活で起こるなにげないことが、その時の自分に必要なメッセージを語ってくれます。そのようにして、物事は起こります。だからこそ、自分自身と、日々のでき事を冷静に観察し、理解していくことが重要です。シンボルの鍵を使って、皆さんから寄せられた体験や身近な例を、いくつかあげて、考えてみたいと思います。

まず初めは、ノーシスを習い出して2、3ヵ月目という人が、1つの品物をいただいたというものです。病氣見舞をしたお返し、快気祝として菓子器が送られてきたそうですが、それは木製で、ちょうど聖杯<sup>①</sup>の形をしていました。送り主に聞いてみると、ほかの人たちには菓子皿セットを送り、その人物には家族が少ないので、大きいのを1つ送ったのだそうです。聖杯は女性要素であり、叡智のシンボルです。ですから、この人物が、今、受けとっているものは叡智である、叡智を与えられているということです。その叡智は、2であるところの母から来るものです。もう1つの例は、時計をもらったというものです。時計は時間を表わします。もう時間がない、急がなければならぬということです。時間に勝たなければなりません。また、こんな例もあります。小だんは、クモなどいないのに、家の中や外で、急にクモが目につく。クモは問題であり、困難です。また、



けがもメッセージです。左手のけが、特に腕の後側のけがは、うらざりや攻撃を表わします。そして、そういう時は、なぜそのようなネガティブ（－）な感情、エネルギーを受けるのか、自分自身の内にある原因、自分の心理を観察する必要があります。一人の人物の例があります。やはり、ノーシスを学んでいましたが、シンボルの意味をよく理解していなかったために、左手、左手の親指、左足と何度もけがをしていながらその意味がわからず、なにもせずについて、ついには、赤いくもに腕をかまれてしまいました。親指は、意志を表わします。赤は情欲、肉欲を表わします。ここまで至る前に、注意深く観察していれば、なんらかの対処ができたはずで、避けられたかもしれません。このように、シンボルの意味を知っていれば、身のまわりでなにが起こっているのか、起こりつつあることを知り、事前の対処をすることもできます。

ノーシスは、なによりも、我々にエゴのことを教えます。このエゴについて、大変興味深いことがあります。受けとった通信をなくしてしまったというので再度、お送りすることがあります。一人だけではありません。そして、なくしてしまう通信は、1つの号に限られています。1年余の間、その号以外の申し出はありません。それが9号です。なぜ、9号だけなくなるのでしょうか。それは心理革命、エゴについての号だからです。エゴは実在します。これは真実です。それを本当に理解していけるように、自分自身をみつめていきましょう。エゴと「私自身」とは、全く他人のようなものです。エゴは、常に我々を見張り、我々を妨害してきます。ですから、我々の手から、9号をうばいとりたいのです。心理、エゴについては、これからも深めていきたいと思えます。

次に夢の例です。干物や塩漬けの魚の夢、津波の夢、ホースの水をあびせられる夢、そして、汚水や階段を降りる夢（射精のあった時）。これらは、性に関する夢で、いずれも性エネルギー昇華に問題があることを教えています。自分自身や夢を観察し、分析することによって、魚や水の示す具体的なメッセージを理解していくことができます。また汚水は、性エネルギー消耗による汚染、そして、階段の下降は進化の階段の下降、内なる蛇の下降です。射精し消耗するたびに、蛇は下降し、見えない尾となり、太く固く長くなっていきます。そして、精神的なグレード（段階）を失います。このように、性は、我々の進化、精神的グレードと深く関係しています。

最後に、次のページの絵と、それを送ってくれたAさんの体験についてです。その体験談を、簡単に書いてみます。「ある朝、起きた時、ふと頭の中に、絵のようなものと、3つの言葉が浮かびました。その時の絵のようなものがこれです。左側にいるのは、直観的に大天使サマエルだとわかりました。そして、顔はしかめしています。右上には、白い光のようなものがあって、そこに向かうようにして、下の方に人らしいものが続いていました。3つの言葉は、サマエル・アウン・ベオールと、ミケランジェロ、そしてエピステーメー。ミケランジェロに関しては、



ふと開いた教科書や、奴隷の像などのめぐりあいがありました。そして、ある日、私は美術室にある奴隷の石膏像を、真二つに割ってしまいました。その時、大変、不思議なものを感じました。」このような体験です。これはどういうことでしょうか。サマエル・アウン・ベオールは、ノーシスを近代的に総括し、人類に初めて公開した人物、エゴの全くないマスターです。心理革命、完全なる結婚など、多くのノーシスの本を書いています。ミケランジェロも偉大な芸術家で、角のあるモーゼの像の作品を見ても、彼が叡智を理解していたことがわかります。エピステーメーはギリシャ語で知識を意味し、ヘルメス文書の中にも出てきます。

それは真知、神が与えた叡智です。そして、ノーシスは、叡智の最も奥深いエッセンスであり、聖なる母の源から与えられています。真実の叡智によって、奴隷であることをやめよ！己れの内にある奴隷を破壊せよ！という強烈なメッセージが聞こえるようです。上と下、聖なるものとそうでないもの、上の水と下の水、それらを分けてこそ、内なる奴隷、エゴを破壊できるのです。けれども、このような進化のための仕事が良く行われていない、ということも、大天使サマエルの顔が語っています。Aさん個人が理解すべき具体的なメッセージは、Aさん自身が自分を観察し、つかみとっていくでしょう。そして、Aさんに与えられたメッセージを通して、我々も学んでいくことができます。我々、人類の現状はあまりにも頓滞しています。一人一人が己れのエゴと闘い、奴隷であることをやめていかなければなりません。